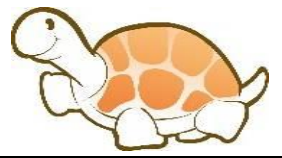




のこのこたより



令和 6年 4月 第108号

社会福祉法人晃宝会

特別養護老人ホームあじさい園 宝

住所：奈良市南肘塚町99番1

電話：0742-24-0878 fax：0742-23-0373

令和六年度 事業計画 法人目標 「心身の健康」

新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着き、昨年5月8日以降は感染症の類型も緩和され、元の日常に戻るべく町は活気を取り戻し、外国人観光客も増加、世の中は総じて緩やかではありますがありますが回復基調にあるようです。一方、ウクライナ侵攻をきっかけに燃料原料高となり物価上昇をもたらす、国全体では積極的に賃金上昇を促していますが、福祉施設の運営については、人材不足も重なり、厳しい状況であることは否めません。

介護報酬という国からの決まった収入の中での、物価高騰人件費高騰は、経営を圧迫し、福祉、つまり「しあわせしあわせ」の実現を夢見て、日々仕事を行う我々にとって、地域共生社会の実現や地域ケアシステムの構築に向け、どこまで理想を追い続けることができるのか。加えて、気候変動がもたらす自然災害への備えも急務となるため、不安を持たざるを得ません。

今までつちかった知恵と経験とより良い知識を駆使し、目の前の課題をひとつひとつ丁寧に考えて解決するという地道な努力を継続すると同時に、力を蓄え予期せぬ課題には、心ひとつに協力し、改革改善を進めてまいります。

今年度の目標は「心身の健康」とします。
ご利用者の心身の健康をお守りすることはもちろんのこと、サービス提供者である法人職員の心身の健康、そしていつも近くで影となりひなたとなり支えてくださっているご家族、地域の皆様の心身の健康、行政や関係者の皆様の心身の健康を祈り、5つの基本理念、感謝、機転、謙虚、笑顔、清潔、を実践してまいります。

今年度、地域貢献事業として、奈良市高畑町102-1「晃宝会フォーラム」の事業を開始します。平成29年からの「オレンジカフェすいもん」の事業展開で培った仲間との集いの場、学びの場、心安らぐ場、としての晃宝会独自の地域貢献の実践を、次は高畑町「晃宝会フォーラム」で行います。法人内外の研修会や役員員の会議、災害や感染拡大時など有事の際の利用、地域の皆様の交流の場、障がいのある方、認知症のある方、介護や支援の必要な方、とより多くの皆様にコンサートや映画鑑賞などをお楽しみいただく場としてご利用頂き、地域共生社会の実現に向けた取り組みを継続いたします。



晃宝会フォーラム

GHのご利用者様は、あじさいサロンで、地域の皆様と一緒に手作りのうさぎや猿の帽子をかぶって「ぼつんと一軒家」の劇に参加されました。とても楽しんでいただき笑い声が絶えませんでした。

お雛祭りのお祝いをしました。毎年、お雛祭り散らし寿司は「美味しい」と評判で皆様にお喜びいただいております。



第4GHの運営推進会議を開催！今回は、Nネット常務理事の神谷様に今後利用が増えていくであろう成年後見制度について研修していただき実りある会議となりました。

手作りのお雛人形を飾らせていただき、お雛祭りをお祝いしました。どのご利用者様にも手に取って見ていただきました。「かわいらしいなあ」笑顔でお喜びいただきました。



スタッフと一緒に夕食のデザート作りをしました。フルーツカクテルをゼリーで固めて、生クリームといちごをトッピングしました。とってもカラフルで美味しくできました。



いつもご協力、ご支援ありがとうございます。事前予約での面会を行っております。お忙しい中面会にお越しいただきありがとうございます。

- 4月行事予定**
- 3日：あじさい園28周年祝
 - 8日：あじさいサロン(GH) 14:00
 - 10日：春のコンサート(コールシオン) 10:30
 - 16日：BCP訓練(特養・GH) 午後
 - 18日：宝開園9周年記念お祝
寿司バイキング(昼食)
 - 19日：お誕生日会 15:00
 - 23日：防災訓練 特養(午前) GH(午後)
 - 26日：体操(けんどう倶楽部) 10:30

第84回 知っておいてほしい口腔がんのこと①

口腔がんの現状は？

口腔がんを発症するのは人口10万人あたり6人未満で、まれな「希少がん」に分類されますが、この30年で4倍以上に増えています。国立がんセンター「がんの統計(2022)」では、2018年には22,515人(男性15,679人、女性6,836人)が口腔・咽頭がんと診断され、2020年の死亡数は7,287人と報告されています。現在、超高齢社会の日本でがんは死因のトップですが、口腔がんも多くのがんと同様、高齢になると罹りやすくなります。しかしその一方で、口腔がんがこれまで少ないとされていた、「若年者、女性、非喫煙・日飲酒者」でも増加傾向にあることに注意が必要です。

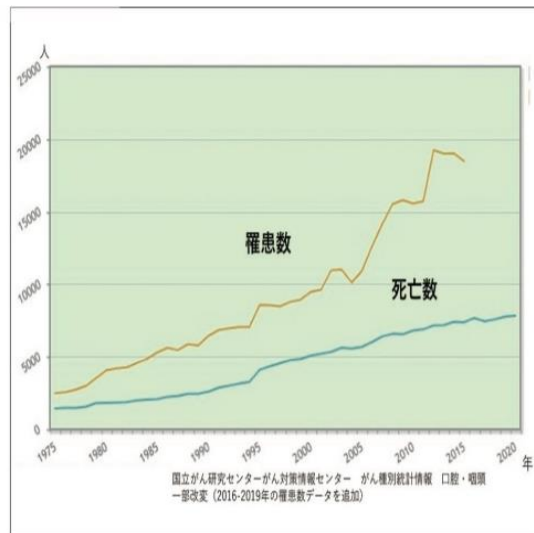


図1 口腔・咽頭がんの罹患数、死亡数の年次推移 (口腔がんだけでなく咽頭がんも併せた数)

口腔がんの症状は？どのように進行する？

口腔がんの9割を占める扁平上皮がんは、口の中を覆っている粘膜上皮から発生します。口の中の部位により、舌がん、(上顎・下顎)歯肉がん、口底がん、頬粘膜がん、硬口蓋がんに分類され、このうち舌がんが約半数、歯肉がんが約4分の1を占めます。また数は少ないですが、顎骨の中(顎骨中心性がん)や唾液腺がん、悪性黒色腫というメラニン産生細胞から発生するホク口のがん、骨肉腫などの骨軟部腫瘍、悪性リンパ腫などの造血器腫瘍、他の臓器がんの転移(転移性がん)が口腔に見られることがあります。最も多い口腔扁平上皮がんでは、表面にとどまっている早期のがん(表在がん)は、白斑や紅斑、粘膜のただれ、違和感、しみるなどの症状があることが多いのですが、痛みはあることもないこともあります。また、舌がんと歯肉がんでは、初めの症状(初発症状)が少し異なります。早期の口腔がんは診断が難しいことがあり、口腔外科や耳鼻咽喉科などの専門科で、病理組織検査などの精密検査が必要なことがあります。2週間以上治らない口の中の異常を感じたら、こうした専門科を受診することをお勧めします。がんは進行すると、もいあり、中心部がえぐれた潰瘍や腫瘍となり、硬結(しこり)を触れるようになります。また、血管が侵されると出血しやすくなり、神経が侵されると強い痛みや感覚異常(しびれ)を生じます。そしてがんは深部に浸潤してリンパ管や血管を通して、転移して首のリンパ節が腫れます(頸部リンパ節転移)。さらに進行すると肺、肝臓、骨などの離れた臓器に転移(遠隔転移)して全身へと広がっていきます。

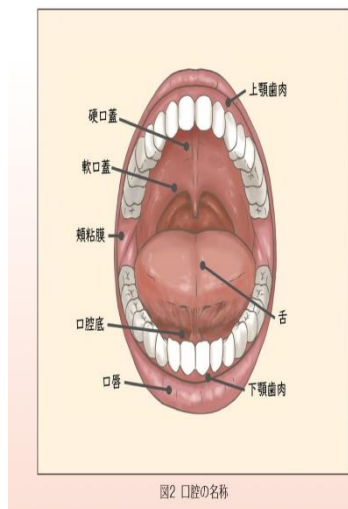


図2 口腔の名称

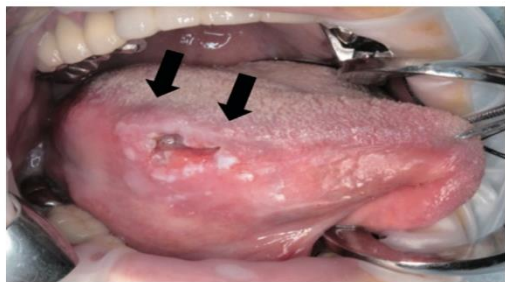


図3 舌がん

右舌に硬結(しこり)のある潰瘍があり強い痛みがある



図4 下顎歯肉がん

左下顎の歯肉に隆起した腫瘤があり、歯を磨くと出血する・痛みはあまりない